

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町1-20-8 浜松町一丁目ビル6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



音楽療法を医療・福祉領域に根づかせるための学会の取り組みについて

常任理事

特別プロジェクト研究特別委員長 村林 信行

私が音楽療法と関わりあうようになったのは大学を卒業してまもなくでした。

早いものでそろそろ30年になろうとしております。この間、普段は心療内科医として音楽療法を外から見ながら、一方では学会での活動を通して音楽療法士と日常的に接するという特殊なポジションで仕事をしていたように思います。このため、医師の発想法、音楽療法士の発想法について考える機会もしばしばありました。

医師は医療モデルで「病気を治す」ということを中心に考えます。薬物や手術などが主要な治療方法で、これらの方法でなかなかうまくコントロールできない病態は「治らないケース」ということで苦手意識を持ちがちです。慢性疾患の中には、「治らないケース」が数多く存在し、このようなケースに対して医師以外のコメディカルが担当する心理社会的治療でよいものがあるれば是非任せたいという医師も数多くいます。認知症、統合失調症、うつ病の慢性期、児童・思春期の発達障害、心身症、緩和ケアなどでは心理社会的なアプローチの重要性が高く、今後音楽療法への期待が高まる可能性もあるかと私は考えています。

そこで問題になるのは、医療・福祉の領域で他の職種から音楽療法の効果が認められるためには、他の職種にもわかるような形で音楽療法の効果（エビデンス）を検証しなければならないのです。

音楽療法は本来はセラピストとクライアントの個々のやり取りに意味があるという側面があります。それゆえに音楽療法の介入を客観的に評価しようとする、音楽療法のよい部分を拾いきれないのではないかと懸念も確かにあります。また薬の治験では医師も患者も誰が実際に効果のある薬を飲み、誰が偽薬を飲んでいるかわからない設定のもとに研究を進めます。しかし音楽療法では誰が音楽療法を受けて、誰が受けていないかは一目瞭然とわかります。この点も効果を客観的に証明するうえで弱点となります。さらには多数のケースを集めることが現実にはとても難しいのです。

上記の理由で音楽療法のエビデンスを整備するのが難しい事情がありました。

このような状況で、学会に何ができるか学術・研究委員会と国家資格推進委員会とで何度も話し合いがもたれました。医学や福祉の領域で音楽療法が足場を確保するためには、学会員が力を合わせてエビデンスを検証し、「音楽療法は〇〇の状態にある人々の△△を改善（軽減）する」というストーリーを作るために時限的な特別プロジェクト研究特別委員会（特プロ）を2012年に立ち上げました。

特プロでは、①現状ではクライアントの数が多く、今後も激増が見込まれること、②多くの音楽療法士が高齢者を対象にしていること、③国が今後さらに対策に力を入れると考え

られることなどから高齢者を対象とした量的な研究を行うこととしました。

この際、「学会でなければできないことは何か」を考えた結果、多施設で共通のプロトコルを使用して音楽療法の効果を研究することになりました。

これまでの認知症に対する音楽療法の量的研究によれば、音楽療法はクライアントの不安を軽減する効果がありそうで、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）にもある程度の効果が報告されております。

特プロでは2013年から予備研究を5施設（北海道、岩手、石川、東京、三重）で行いました。対象は要介護1までのケースで、2週に1回、3ヶ月間の音楽療法を行いました。この結果認知機能、日常生活機能、精神的健康度が改善しました（詳細は論文として報告予定）。

予備研究の結果から、音楽療法士が日常行っているセッションを尺度をつけて評価すれば、高齢者の身体・精神・認知・生活機能を向上する可能性が示されました。

この結果をふまえて、既に本研究がスタートしております。

本研究では、対象を選択するのに工夫をしました。国の政策として①今後さらに介護予防が重視されること、②今後要支援の人たちを支援する主体が国から市区町村に移行することなどから、健康（認知症発症前）な人から要支援の人を対象に設定しました。今後の国の政策に対して音楽療法が効果を証明できるようにするためです。

方法として、「対象の障害に対して音楽療法が有効である」ことを証明するために無作為化比較試験（RCT）という方法を行います。これは音楽療法を行わない群を設定しますが、音楽療法士が事前に誰の音楽療法を行い、誰に行わないか決められない仕組みを作りました。

本研究は10施設合計100人を目標としておりますが、現在すでに6施設で研究が開始されております。

もう一つ学会が取り組んでいる事業に地域プロジェクトがあります。近年、高齢化と核家族化で地域のコミュニティの崩壊が進んでいます。高齢者や精神障がい者などがなるべく入院や入所をしないで地域で生活できるよう、音楽を人々をつなげる目的で活用する試みです。本学会では村井副理事長が中心となり、現在世田谷区と共同してプログラムを考案しております。今後は現場で起こったことからどのような新しい音楽療法のアイデアが生まれるか注目していきたいものです。

急激に変化しつつある世の中を少しでも住みやすくするために、音楽療法が少しでも貢献できれば、それはとても夢のある話だと思います。音楽療法士が自分たちの仕事に誇りを持って、多くの人々の力を結集することがこれからますます大切になっていくように思います。

第14回日本音楽療法学会学術大会（名古屋）へのいざない

大会長 栗林 文雄

厳しかった冬も去り、ようやく春爛漫の季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。これは今年9月19日から21日まで名古屋国際会議場で開催される日本音楽療法学会第14回学術大会への招待状です。学会員の皆様全員への招待状であると同時に、同大会で開催される市民講座への参加者の皆様への招待状でもあります。

学術大会は年に一度の音楽療法の祭典です。お祭りなのです。高い梢に囲まれた社の広場に群れ集う山里の人々のように清められ、全員で心を合わせて前進する力をみなぎらそうではありませんか。また世界は異なりますが、デルフォイの神殿に集う古代ギリシャの民のように、音楽の力と療法の技術知識を担当するアポロ神からの恩恵を全員で受けようではありませんか。祭りは政治と関係が深いとされています。まつりごととは政と表され古来集団の意思決定の場でもあったのです。皆様に参加されることにより、これからの日本の音楽療法のあり方を議論する「まつりごとの場」として、この名古屋の祭典を特別なものとしようではありませんか。

さて、学術大会は祭りであると同時に研究者同士の真剣な議論の場でもあります。日頃の音楽療法の貴重な臨床体験を要約して報告するのも良いでしょう。臨床現場はこの世界の

最先端の情報を豊富に与えてくれる情報源なのですから。また、過去の音楽療法士やパイオニアたちの活動を振り返る歴史研究も興味があります。我々はすぐに過去の出来事や情報を忘れてしまい、以前に報告されていた同じ情報を「新発見」といったことを繰り返す愚かな面もあるのです。歴史研究の意味は大きいのです。

さらに研究方法を勉強した人であれば、臨床活動に必要なさまざまな理論を記述的、実験的に調査し発表することができます。めずらしい参加者との臨床体験をケーススタディーとして発表するのも良いでしょう。どの方法であっても誠実に行われた臨床活動の成果発表は大歓迎です。

この大会は東海支部の役員、大会実行委員の皆さんの総力をあげて行われようとしています。会場の選定や当日のスケジュールの取り決め、研究論文の公募と審査、交流会の出し物や食事の用意、外部への広報、参加される講師たちへの対応など、これまでも、またこれからも委員の方々の努力は地道に続けられます。皆様ぜひ名古屋大会にご参加ください。きっと印象に残る大会になると思います。役員全員でお待ちしています。

（9月19日講習会、20日・21日学術大会）

■ 日本音楽療法学会 音楽療法士(補)資格審査(筆記試験)実施要項(抜粋) ■

次の要領で2014年度音楽療法士(補)資格審査(筆記試験)を実施します。この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適性を確かめる目的で行われます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)の資格を得ることができます。音楽療法士(補)資格取得者は、認定規則(面接試験)に沿って学会に申請すれば、面接試験(弾き歌いと口頭試問)を経て正規の音楽療法士として認定されることとなります。

1. 試験の日時および会場：2015年1月18日 日本教育会館
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン11に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの履修生(卒業見込み者・既卒者)および新認定制度における必修講習会受講修了生
4. 受験手続：認定校の既卒者・卒業見込み者
各認定校に送られる試験実施要項に沿って申込期間に申請してください。
必修講習会受講修了者
音楽療法士認定規則に沿って申込期間に申請してください。
5. 試験はマークシートによる多岐選択形式100問と、提示するテーマに沿った論述
受験票、筆記用具(HB鉛筆数本と消しゴム)および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間：2014年11月14日(金)～11月28日(金)までに学会事務局へ必着
8. 合格者の発表：2015年1月下旬(審査結果は受験者本人に文書にて通知)
9. 合格者のうち、認定校履修生で卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。(既卒者は不要)。送付してきた者について当学会音楽療法士(補)の資格証明書を発行します。(既卒者には合格発表と同時に発行します。)この証明書は、(補)試験合格年度と別年度に学会認定音楽療法士の面接試験を申請する際に必要となります。(同一年度に面接試験の受験申請をするときは不要)

■ 東日本大震災の被災者支援活動のご報告 ■

災害対策特別委員長 智田 邦徳

2011年3月11日に発生した東日本大震災によって被災された方々を支援するために東北支部の評議員を中心に立ちあげられた災害対策特別委員会では、これまでの3年間で以下の取り組みを行ってきました。

1. 被災地域在住の学会員に向けたはがきによる安否確認
2. 被災地支援を行う音楽療法士を対象に、諸注意や事前知識などを盛り込んだリーフレット作成と配布
3. 被災地での支援活動の際に使用する写真つき身分証明書の作成
4. 被災地域の自治体、医療・福祉・教育機関等へ向けたチラシを「すべての人々へ音楽を」と題し作成、配布
5. 被災地支援を行う音楽療法士への日当・交通費の支給および支援を希望する音楽療法士からの申し込みと報告の受付
6. 被災地におけるニーズの把握と支援を希望する音楽療法士のマッチングを目的としたキーステーションの設立と運営
7. 委員会主催の講習会開催（東京、仙台、盛岡、福島）およびスーパービジョンの実施
8. 学術大会における委員会主催の自主シンポジウムの開催（富山、宮崎、鳥取）

これらの活動資金は全国の会員各位から寄せられた義援金と学会本部から年度ごとに支給される特別給付金が原資です。また収支報告などは学術大会の際に評議員会と総会において報告しております。

災害対策特別委員会は時限の本部直轄の特別委員会として設置され、本来であれば2013年度で終了の予定でしたが、委員各位からの強い希望で現在の理事・評議員の任期に合わせて本部直轄の委員会として延長されることとなりました。そしてこれまで同様、本部から二俣・加藤両常任理事に委員として参加していただき、新年度からもこれまでと同様に被災地支援に関する業務に取り組んでまいります。

震災から三年経過しましたが、被災地の現状はまだまだ復興への道のりは遠く、福島県では未だ原子力発電所事故の収束の目処はたっていません。仮設住宅で暮らす人々や遠隔地へ避難した被災者への長期的な支援とその支援を行う音楽療法士へのケアや啓発活動が必要です。

震災後に全国の皆様がお寄せくださいましたご支援に対して深謝いたしますと共に、今後とも各地域の実情に応じたご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】〒065-8567 北海道札幌市東区北16条東9丁目1-1 札幌大谷大学関谷研究室
TEL 011-742-1796 FAX 011-742-1718 E-mail jmt.hokkaido@gmail.com

2014年度第25回研修会

開催場所：札幌大谷大学 4F響流（こーる）ホール

開催日時：2014年5月25日（日）10:00～16:45

支部総会・研修会内容：教育講演「神経学的音楽療法の概略と実践」（仮）：小日向直美氏（NPO 法人日本神経学的音楽療法協会）・研究発表

問合せ先：上記事務局

§ 東北支部

【事務局】〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山4丁目21-5 須佐方
FAX 022-264-4872 E-mail jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

第14回東北支部学術大会および総会

開催日時：2014年6月28日（土）～29日（日）

開催場所：郡山市音楽・文化交流館ミュージカルがくと館（福島県郡山市）

大会長：須佐涼子

大会テーマ：「今ここに、響き合うところを求めて～音楽療法の可能性を探る～」

内 容：講習会講師 土野研治氏（日本大学芸術学部音楽学科教授）
基調講演 池埜聡氏（関西学院大学大学院人間福祉学部教授）
総会、研究発表、交流会

問合せ先：上記事務局

§ 関東支部

【事務局】〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミサポートハウス内
TEL 0276-55-6344 FAX 0276-55-5022 E-mail mtkanto@jmta-kanto.jp
支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>

関東支部・新三役（任期：2014年4月～2017年3月）

支部長：藤本禮子 副支部長：郡司正樹 事務局長：猪之良高明

第13回関東支部講習会・地方大会（千葉）のご案内

開催日時：2015年1月31日（土）～2月1日（日）

開催場所：千葉市文化センター 千葉市中央区中央2-5-1

大会長：土野研治 実行委員長：蔭山真美子

大会テーマ：音・音楽からのメッセージ
～人とつながる 地域とつながる～

問合せ先：〒260-0014 千葉市中央区本千葉町4-10 時田ビル3F

ピュア・ミュージックスクール内 日本音楽療法学会関東支部千葉大会事務局
事務局長 加藤道郎

FAX 043-227-2746 詳細は支部ホームページをご覧ください。

研修会「臨床から事例発表へ」のご案内

開催日時：第1回2014年6月29日（日） 第2回2014年11月9日（日）

開催場所：日本福祉教育専門学校高田校舎

内 容：午前中 講演会 午後 事例発表3題

詳細は支部ホームページをご覧ください。

関東支部では、支部講習会・地方大会に加え、支部各都県にて開催する都県別講習会を実施しております。関東支部会員が所属する各都県で年1回開催されます。会員が所属する身近な地域で研修が受講できるうえ、各都県の会員同士の連携にもつながるものと期待されます。他支部会員の参加が可能な講習会もあります。詳細は支部ホームページ等で随時ご案内いたします。

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒384-0803 長野県小諸市丙842-1

TEL & FAX 0267-25-1689 E-mail otodama@nifty.com

第12回支部学術大会について

開催日時：2014年6月21日（土）～6月22日（日）

開催場所：金沢歌劇座（石川県金沢市下本多町6番丁27番地 TEL 076-220-2501）

大会テーマ：「音・心のかげはし」

大会長：佐藤順子

内容：・支部総会

- ・公開講演Ⅰ 佐藤順子氏（合唱団「耀」主宰・指導者）
合唱団「耀（かがやき）」演奏
（合唱団「耀（かがやき）」：日本で数少ない認知症の予防と改善を目指す合唱団です。）
- ・公開講演Ⅱ 江原千絵氏（オーケストラ・アンサンブル金沢第2ヴァイオリン首席奏者）
- ・事例検討会
- ・ワークショップ 岡崎香奈氏（東北音楽療法推進プロジェクト顧問）

問合せ先：〒921-8801 石川県野々市市御経塚3-444ファインビュー3

信越・北陸支部第12回学術大会事務局 田悟（でんご） 恵

TEL & FAX 076-225-3070 E-mail kanazawamt2014@yahoo.co.jp

§ 東海支部

【事務局】〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 大垣女子短期大学 小西研究室

E-mail jmta-tokai@jmta-tokai.sakura.ne.jp

支部ホームページ <http://www.jmta-tokai.net/>

東海支部では、現在9月に開催される第14回日本音楽療法学会学術大会に向けて、全国からお越しいただく会員の方々が気持ちよくご参加していただくために、万全の準備を進めております。是非、多数の皆様がご参加くださいますよう、心からお待ちしております。

今回は、上記の学術大会も含めて、以下の4点をご報告いたします。

1. 第7期支部新役員が、3月の支部総会で承認され、4月からスタートします。都築裕治支部長を中心に、18名の新役員と2名の監査役員体制で、支部活動を引き継ぎます（詳細は、支部HPを参照）。
2. 東海支部紀要第4巻が、まもなく発行されます。購入をご希望の方は、HPで手続き方法を確認されてお申し込みください。
3. 第14回東海支部大会が、去る3月2日（日）大垣女子短期大学で、約180名の参加を得て無事終了いたしました。次回の支部大会については、後日HPでご連絡します。
4. 第14回日本音楽療法学会学術大会が、9月19日（金）～21日（日）に名古屋国際会議場（名古屋市内）にて開催されます。第3次案内でご確認の上、お早目のお申込みをお願いいたします。

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
FAX 072-763-0305 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp
支部ホームページ <http://www.jmtak.com/>

1. 支部事務局への郵送連絡先について

大前支部長の定年退職に伴い研究室は使えなくなりましたが、日本音楽療法学会の郵便受けは、大阪音楽大学の受付に引き続き置いて頂けることになりましたから変更はありません。

2. 第13回近畿学術大会・講習会・近畿支部総会について

開催日時：2015年3月7日（土）8日（日）

開催場所：帝塚山大学（奈良市 近鉄電車 学園前駅すぐ）

詳細が決まり次第、近畿支部ホームページに掲載致します。

§ 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX 082-814-3161 E-mail jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp
支部ホームページ <http://www.h-bunkyo.ac.jp/jmta-cc/>

第14回支部大会・第21回講習会

開催日時：2014年5月24日（土）・25日（日）

開催場所：岡山シンフォニーホール

内 容：講習会 講師 青拓美先生・舟橋厚先生・柏原健一先生

支部大会 基調講演 筒井恵子大会長

教育講演 中島洋子先生

問合せ先：中国支部ホームページをご覧ください

§ 四国支部

【事務局】〒762-0082 香川県丸亀市飯山町川原1847-4 三崎めぐみ気付
TEL & FAX 0877-98-7696
E-mail gaber29@mb.pikarane.jp ※メール（添付）での連絡希望

第10回四国支部大会

開催地：高知県

開催日時：2014年8月31日（日）

講師：大友良英氏

詳しい内容については未定

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

認定者対象講習会

開催日時：2014年4月20日（日）

開催場所：アクロス福岡（福岡市）

支部講習会

開催日時：2014年7月5日（土）

開催場所：いずみ病院（沖縄）

支部大会

開催日時：2015年1月予定

開催場所：アクロス福岡（福岡市）

学会事務局からのお知らせ

■ 第15回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

- 日 時：2015年9月11日・12日・13日
 - 会 場：札幌コンベンションセンター
 - 大会長：久村 正也、実行委員長：安藤 妙子、事務局長：関谷 正子
 - 大会テーマ：「未定」
- ※大会案内は順次お知らせします。

■ 2014年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日 時：2015年2月21日（土）・22日（日）
 - 会 場：日本教育会館（東京都千代田区）
- *詳細は次号でお知らせします。

■ 2014年度資格審査のお知らせ

- 2014年度に学会資格の認定申請ができるのは、次のいずれかに該当する方に限定されます。
 1. 音楽療法士（補）の資格（合格年度に関わらず）を有する方
 2. 日本国外の音楽療法士の認定資格を有する方。
- 第19回の資格審査のための申請受付期間は、2015年1月30日～2月13日です。
 - * 2月13日（金）必着
- 「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せて申請してください。
 - * 申請書「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」の取り寄せ方法
500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（面接試験）請求」として事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。
 - * 書類審査結果は2月下旬に通知します。書類審査合格者には面接試験（実技を含む、3月14日（土）、15日（日）会場は東京）の案内が同封されます。
 - * 最終審査結果は2015年3月末日にお知らせします。

■ 2014年度資格更新審査のお知らせ

- 今回は第4回、第9回および第14回認定者が対象となります。
- 第14回の資格更新審査のための申請受付期間は、2014年10月15日～10月31日です。
 - * 10月31日（金）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りします申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」と同じ方法でお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。
 - * 最終審査結果は2015年2月初旬に通知されます。

※資格審査、更新審査時に提出される証明書類は現物とコピーの両方となっておりますのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた指定の大きさの封筒を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、簡易書留郵便にて返却しますので通常料金に310円加算して切手を貼付してください。

■ 「音楽療法士認定規則」の取り寄せについて

一般認定規則の一部見直しがなされ、改定版が発行されました。今後はこの改定版に添って認定制度が運用されます。購入を希望される方は、500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則請求」として事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

※上記認定規則に沿って資格取得を目指す方のための講習会は、2014年9月から開始となります。

（詳細は9ページをご確認ください。）

※既に音楽療法士（補）資格を取得された方は、この認定規則は不要です。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2014年度新年度が始まりました。年会費は別便でお送りする専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円

購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口

払込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会

○口座番号：00120-9-657711

■ カリキュラムガイドライン'11の取り寄せについて

会員の方は「カリキュラムガイドライン'11請求」として事務局へお申し込みください。会員外の方は、120円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛名明記）を同封の上お申し込みください。

■ 第13回認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について

2011年に発表された「カリキュラムガイドライン'11」適用の音楽療法コース既卒者、卒業見込み者および新認定制度における必修講習会の受講者を対象に、2014年1月19日、第13回の（補）認定試験を実施しました。この試験問題の解答と解説集が発行されます。（2014年7月頃予定）昨年度（2014年1月19日）の（補）受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外の方で入手希望の方は以下に沿ってお申し込みください。また、2001年度第1回から2012年度第12回までの（補）試験問題解説集も単年度版、合冊版ともに発行されています。購入を希望される方は以下に沿ってお申し込みください。

【取り寄せ方法】

希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

認定音楽療法士（補）試験問題解説集	金額（送料込）
2013年度単年度版（送付は7月以降）	1冊 1,000円
2001年度～2012年度 単年度版（希望年度を明記してお申し込みください）	各1冊 1,000円
2001年度～2005年度、2006年度～2010年度 5ヵ年分合冊版	各1冊 2,000円

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「DVD「音楽のちから2012」請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバーの購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届け出てください。(学生証のコピー添付)

※学生会員の場合は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません、ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時も同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名も合わせて明記してください。

※その他事務局への各種お届け方法の詳細については日本音楽療法学会ホームページをご覧ください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

● 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書など

手数料：500円

● 音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含みます。

※3×4 cmの顔写真および、現在お持ちの登録証明書および賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ変更の場合も、登録証明書・賞状ともに変更の場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、依頼される際にお名前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。